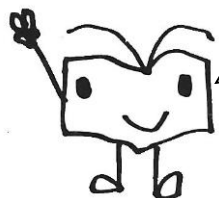


学校図書館支援便り

市立図書館司書と支援担当の学校司書が
学校図書館支援を行っています



ブクン（やべみつのりさん画）



学校図書館専任司書の配置拡大が完了しました！

令和6年11月から小学校15校・中学校7校の学校司書が**1校専任（週4日・1日6時間）**の勤務になりました。中央図書館配置の学校司書（支援担当）も週4日勤務になりました。今後とも児童生徒&先生方のご利用をお待ちしています！



第69回 学校読書調査

★★★小中学生が読んだ本ランキング★★★

	男子	女子
小学生	科学漫画サバイバル	学研まんがでよくわかる
	ハリー・ポッター	5分後に意外な結末
	かいけつゾロリ	ふしぎ駄菓子屋銭天堂

	男子	女子
中学生	変な家	変な家
	ハリー・ポッター	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。
	5分後に意外な結末	5分後に意外な結末

*シリーズや多巻ものをまとめて集計したもの

全国学校図書館協議会の調査によると、小中高校生の9割が「読書は大切」だと考えている。

今年5月の1か月に読んだ本は、小学生13.8冊（前年比1.2冊増）、中学生4.1冊（1.4冊減）だった。また、月に本を1冊も読まなかった児童生徒の割合（不読率）は、小中とも前年より上がり、特に中学生は4人に1人が1冊も読んでいないという結果だった。（11/5 読売新聞より）

講演「小中学生の読書について」

飯田一史氏

『いま、子どもの本が売れる理由』（筑摩書房）『「若者の読書離れ」というウソ』（平凡社）の著者

9月24日（火）、学校司書研修が実施されました。講師は飯田一史さん。多角的な調査やフラットな視点で分析した子どもの読書状況についてのお話でした。「最近の子どもは本を読まない」と体感だけで嘆きがちな教育や読書の関係者が耳を傾けるべき内容で、改めて今後の学校図書館の選書や読書指導を考えるきっかけになりました。

■読書離れはほんとう？

- ・ 長いスパンで見ると、読書推進施策（計画策定や朝読書など）の成果が出ている。
- ・ 小中学生の書籍読書量は今や過去最高の水準に。
- ・ 2000年以降は小中高校生の書籍不読率は改善傾向。

■軽読書にも目を向けてほしい

- ・ 「良い本」を読ませたい大人が多いが、軽読書（「文字だけの書籍」以外に「絵+字」の本、マンガやオーディオブック等）も必要でその後の読書への呼び水にもなっている。
- ・ 「視覚特性」の人もいるので、「文字だけ」でなく、「視覚+文字」、「音声+文字」も有効。

■人気の本

- ・ 『変な家』（雨穴/著 飛鳥新社）→オモコロ（ウェブメディア）や YouTube と連動。映画もヒット。流行りのヒット作だが、「内容」が読者に向いていないと読まれないので、内容的にも中学生に刺さった本。

♡大人も楽しめる絵本♡

『急行「北極号」』

C・V・オールズバーク/絵と文
村上春樹/訳 あすなろ書房

サンタクロースを待つ少年が乗った不思議な汽車…。絵と文章が美しい。忙しい季節の癒しにぜひ。

ひとあし早いクリスマス気分を！

表紙画像